

平成26年度 新潟市道徳部 活動報告

部長 若山 大輔（横越小）

1 研究主題

自己を見つめ、よりよい生き方を目指す子ども
～3つの出会いを視点にした指導法の工夫～

2 研究の概要

本主題には、「自己の在り方や生き方を主体的に見つめ、これからの自分に期待し、道徳的な実践への意欲を高めてほしい」という強い願いを込めている。

主題の具現化に向けて、子どもたちは道徳の時間に主に3つのものに出会うと考える。それは、「①資料における人物や価値②友達の見方、考え方③新しく見えてきた自分の姿」である。

市小研道徳部では、この3つの出会いを通して、自己実現への思いや願いを培っていくことのできる道徳授業の実現を目指している。それは、「児童自らが、資料と経験を重ね合わせて考え、友達と自分の考えを交流する中で、希望をもってよりよい生き方を見つけ出していく授業」と捉えている。そのためには、道徳の時間における新しい指導法の構築が必要であると考えている。

3 研究の実際

- 5月 道徳部役員会 ・研究計画の検討
- 6月 全員研修 ・研究計画の提案と意見交換 ・授業者の決定と役割分担
- 7月 全員研修 講演会 上越教育大学教職大学院 教授 早川 裕隆 様
演題 『道徳的実践力』をより効果的に育成し『道徳的実践』につなげる『即興的』な役割演技の創造
- 8月 全員研修 講演会 山形市立宮浦小学校 教諭 佐藤 幸司 様
演題 「教科化に因應する とっておきの道徳授業」
- 9月 指導案検討
・提案者 2年 河野 恵里子教諭（新通小）
アドバイザー 渡邊 泰治教諭（大形小）（新潟市マイスター）
- 11月 研究授業
・授業者 2年 河野 恵里子教諭（新通小） 主題名「ともだちと力を合わせて」
指導者 田中 修二教頭（白山小）（新潟市マイスター）
- 12月 全員研修 「わたしたちの道徳」活用研修会、活用情報交換会
実践発表 西塚 朋子教諭（女池小学校）
大淵 栄子教諭（根岸小学校）
- 1月 全員研修 プレ研究発表会、「私の道徳授業」実践報告会
- 2月 道徳部役員会 ・来年度の研究、組織についての検討

4 成果と課題

- 役割演技のもつ心理的役割取得に関する認識を深めることができた。児童における切実感の有無と心情の変容の大切さがわかった。教師が、模擬授業でオーディエンスのもつ役割を体験することにより、自分たちで獲得できた喜びを体感することができた。役割演技に対する認識とその利点が分かったが、今後、授業で、役割演技という手法を活用する場面、資料選定が課題である。
- 講演会において、道徳授業づくりに関する認識が深まった。児童の立場に立ち、模擬授業を受けることで、児童の心をつかみ、児童を動かす資料の力を体感することができた。
- 「わたしたちの道徳」活用研修会では、全体で活用する場面、活用方法を学び、グループで情報交換も行うことで、活用の方向性を新潟市に発信するヒントとなった。今後も活用の仕方を工夫していくことが課題である。
- 授業研究では、市教委の提唱する「問題解決型授業」を具現化することができた。児童の「ハートメーター」を使うことにより主人公の心情を示させたことで、心情の可視化が可能となった。
- 実践報告会では、各自のレポートを持ち寄り意見交換を行った。部員の授業改善を図るきっかけとなった。